

# 中之島フェスティバルタワー・ウエスト

中之島の風土を生かした多様な公共スペースを建物全体に織り交ぜた、「誰もが享受できる」環境建築

## 建物概要

- 所在地：大阪市北区中之島3丁目
- 建築主：株式会社朝日新聞社、株式会社竹中工務店
- 設計者：株式会社日建設計
- 用途：事務所、ホテル、飲食・物販店舗、集会場、美術館、自動車車庫
- 敷地面積：8,377.84㎡
- 建築面積：6,106.48㎡
- 延べ面積：151,146.45㎡
- 構造：SRC造、一部RC造、S造
- 階数：地上41階/地下4階
- CASBEE：Sランク/BEE値3.1
- 重点項目：CO<sub>2</sub>削減4.0/省エネ対策4.0  
みどり・ヒートアイランド対策3.0

## 【立地、周辺環境】

北は堂島川、南は土佐堀川を望み東側では四ツ橋筋に位置する。中之島フェスティバルタワー(2012竣工)とともに新たな大阪のランドマークとなった。

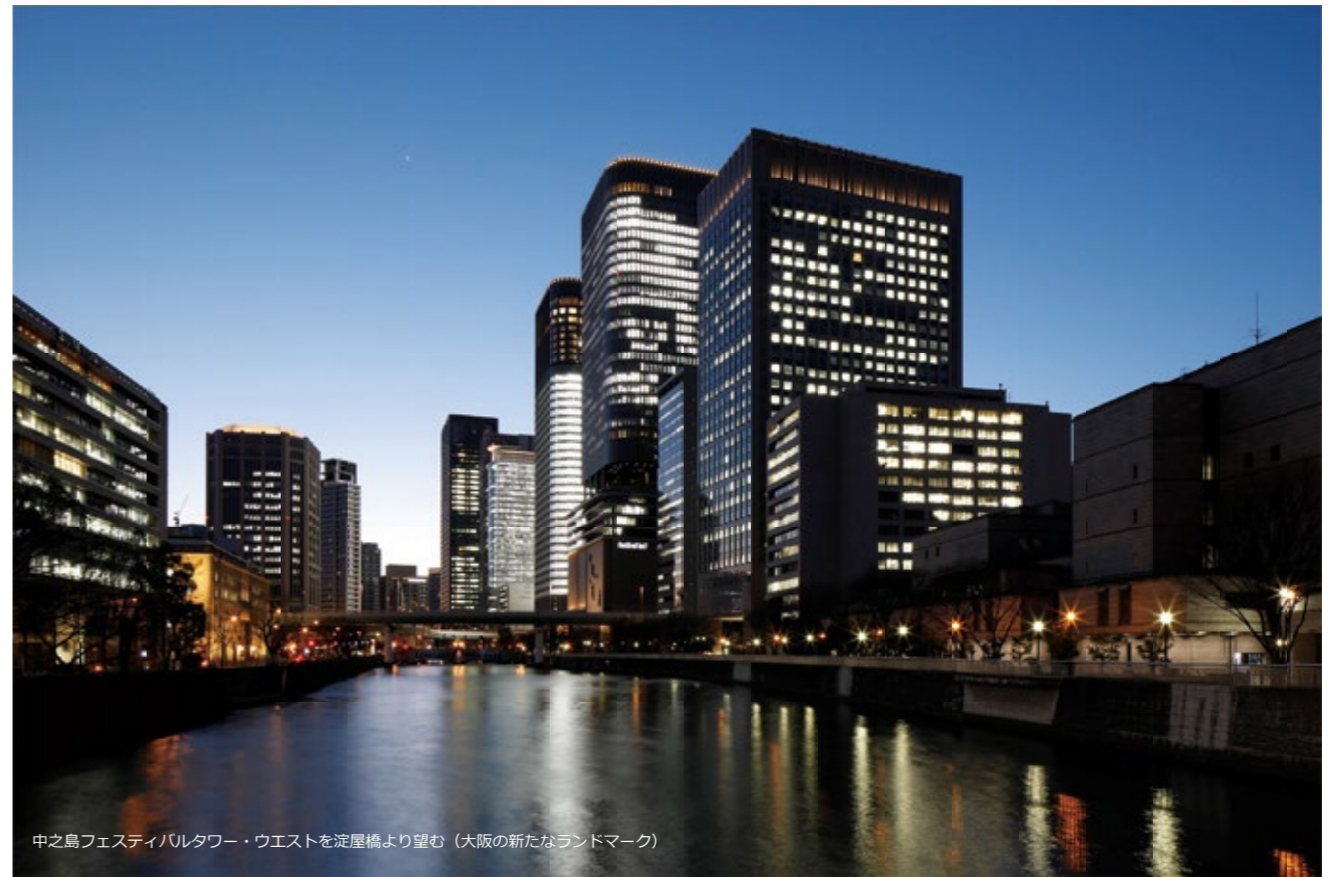
## 【総合的なコンセプト】

足元では公共的歩行者空間を十分に確保し、沿道部には高木・低木を配置し、中之島フェスティバルタワーの外構空間と対になるゆったりとした公共空間を整備。

壁面緑化を配した地下広場やピロティ空間はイベント開催を定期的に行い賑わいを生むとともに都市のアメニティを高めた。また、最上階のホテルのロビー・レストランフロアでは360度パノラマの風景と現代アートを体感でき、建物全体に多様な公共性を織り交ぜた。

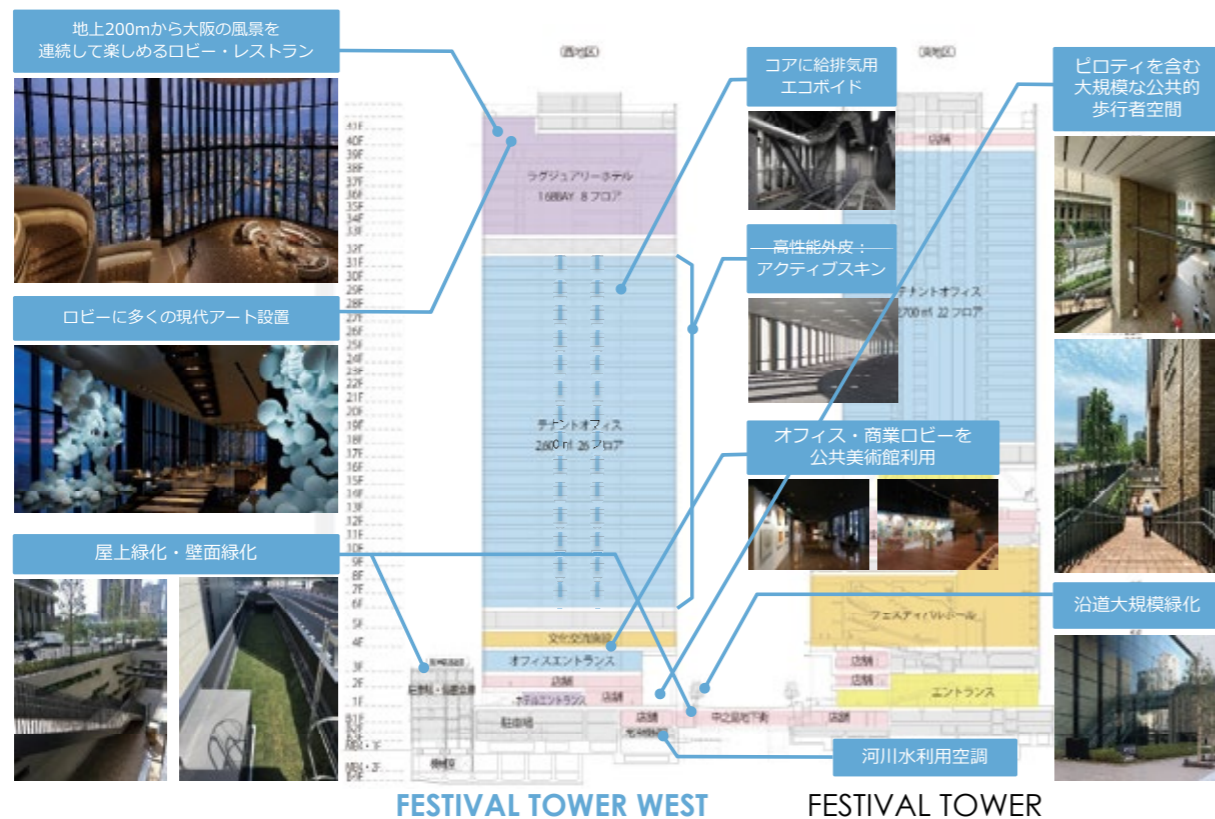


## 環境配慮事項とねらい



中之島フェスティバルタワー・ウエストを淀屋橋より望む(大阪の新たなランドマーク)

## 建物断面構成図

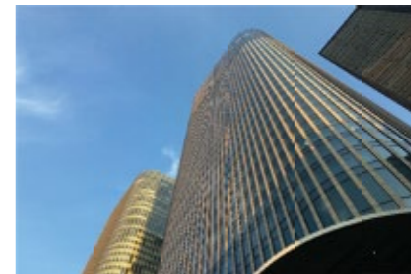


四ツ橋筋に面し、3層吹き抜けの大ピロティ空間を公共的歩行者空間として整備し、多目的なイベントや日常歩行者空間として都市に提供

またコーナー部に株立ちの山桜を植えるとともに、北・東・南の沿道空間は積極的な高木・低木の緑化を行った。



低層は煉瓦壁を積極的に採用し、夏場の熱進入を抑えるとともにまちに落ち着いた雰囲気を与えている。また、歩行者空間は消防局や大阪市都市計画局と協議し日常的な賑わい形成のためのテラス席などを用意した。



高層棟の外装はエアフローを組み込んだダブルスキンとし熱負荷を最小限に抑えている。



地下広場は地下鉄や京阪電車へのアクセスのターミナルとなるが、そうした公共性の高い場所に積極的に壁面緑化を行い、アメニティを高めている。また阪神高速の屋上で大規模な屋上緑化を実施している。



堂島川の河川水の熱を利用した地冷空調システムを採用し、ランニングエネルギーを最適化した。